未来のために考えよう、みんなも一緒に

議会たけとよ

No.197
2026年11月1日発行
令和8年9月定例会
3月 6月 9月 12月



新しい給食センターの前で

注目記事
02 令和7年度決算
町民インタビュー
16 武豊町の学校給食が大好きです
── 杉浦 早紀 さん

おいしい給食を未来まで

令和７年度 決算認定 税金の使い道、議会が最終確認！

歳入は固定資産税の減少などにより前年比1.5％の減
歳出は普通建設事業費（投資的事業）などの縮小により前年比2.7％の減



令和７年度一般会計の決算額

（単位：円・％）

会計別	区　分	予算額Ａ	決算額Ｂ	予算額に対する決算額の比較増減 Ｂ－Ａ	予算額に対する決算額の比率 Ｂ／Ａ
一般会計	歳　入	19,332,840,420	18,994,964,951	△337,875,469	98.3
	歳　出	19,332,840,420	18,115,823,751	△1,217,016,669	93.7
	歳入歳出差引額	0	879,141,200	財政調整基金積立金	592,140,000
				翌年度へ繰越し	287,001,200

議員の視点

令和７年度決算審査において、各事業の成果と予算執行の適正性を慎重に検証いたしました。歳入では固定資産税の減収や町債抑制の動向を、歳出では福祉・教育施策の充実や、繰越・不用額の発生要因について重点的に質問しました。実質収支は黒字を確保したものの、予算見積りの精度向上や事業計画の精査に課題を残しました。今後も税金が効果的に活用されるよう、持続可能な財政運営を厳しく注視してまいります。

文教厚生委員会
専門的に決算をチェック

01 部活動の指導者は足りているか

地域展開など中学部活動の在り方が大きく変化する中で、指導者の確保が課題とされており、外部指導者について審議しました。【決算額】13万2,600円

議員から質問！

Q 外部指導者報奨金の支出が減額となった理由と、指導回数による金額への影響は。

A 指導者の予定が合わず指導実績が見込みを下回った。指導実績があれば、回数にかかわらず前・後期各1万200円を支給する。



▲中学校部活動の様子

02 こども家庭センターの効果は

こども家庭センターは、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を一体化し、保健センター内に設置されている。【決算額】4,104万7,256円

議員から質問！

Q こども家庭センターの開設により、相談支援の利便性や専門性はどう向上したか。

A 専門職を常駐配置し、妊娠期から18歳年度末まで、関係課が連携して切れ目なく支援する。



▲子ども家庭センター（保健センター）

建設経済委員会
専門的に決算をチェック

01 デジタル商品券の効果は

国や県の交付金を活用し、本町においても、初めてのデジタル商品券を導入した。販売実績が想定を下回った要因やデジタル格差による不公平感などの課題について質疑しました。【決算額】4,864万3,736円

議員から質問！

Q 販売口数が当初想定を下回ったが、補助金歳入への影響と販売不振の要因は。

A 実績に応じた補助金を受けているため影響はない。二次募集の未実施やデジタル手続きの難しさなどが要因である。



▲デジタル商品券購入サイトより

02 住宅関連の補助は使われたのか

耐震診断やブロック塀撤去などは減災につながるため、適正な周知と利用があったのかを確認しました。
【決算額】1,057万4,040円

議員から質問！

Q 耐震診断やブロック塀撤去補助などの不用額の理由と、今後の周知・対応は。

A 申請件数や申請額が見込みを下回った。広報やホームページで周知し、計画的な予算執行に努める。



▲補助対象となるブロック塀

総務政策委員会
専門的に決算をチェック

02 ふるさと納税は黒字？赤字？

ふるさと納税は、入ってくるものと出ていくものがあるため、受け入れるふるさと納税額の向上も必要だが、出ていく金額についても注意が必要です。
【決算額】合計28億1,157万1,132円

議員から質問！

Q 町民や町内企業が、他の自治体へ寄付をしたふるさと納税の金額は。

A 個人版は2億7,932万8,647円、企業版は25億3,224万2,485円である。



▲ふるさと納税サイトより

01 まちの貯金額は適正か

財政調整基金は、様々な用途を想定し、適正な金額を積み立てておくもの。多ければいいというものではなく、住民への適正な還元という視点も忘れてはいけない。
【決算額】46億7,000万円

議員から質問！

Q 財政調整基金46.7億円は必要額を積み上げたものか。目標額や今後の残高見込みを明確にすべきでは。

A 決算剰余金を積み立てた結果である。目標や今後の残高見込みについては標準財政規模の10％程度である約10億円以上を目安に確保していく。



議員討論

町議会の議員討論は、お互いに議論を交わし合うことではなく、賛否の理由を述べることにより自分の意見に賛成･同調することを他の議員に求めることです。

公平で、安心できるまちに
（認定第１号）

幼児教育費用・学校給食費の保護者負担をなくす。会計年度職員の待遇改善を進める、役場事務委託料は実態に合わせた金額に、滞納整理機構は解散をもとめる。ごみ有料化の手数料は住民に還元すべきである。温水プール温浴施設の無料開放拡大を求める。

保険税の負担軽減を
（認定第２号）

国民健康保険加入者の所得水準が低く、保険税負担が重い。その主な要因は、制度による被保険者数の減少であることから、一般会計からの繰り入れ、愛知県への広域組合への補助金復活、全国知事会・市長会が求めている国の補助金１兆円実現を求めるべきである。

年齢で差別は許されない
（認定第３号）

反対



梶田 進（かじた すすむ）

後期高齢者医療は年齢により強制的に振り分けられる差別的医療制度である。医療保険制度は統一して行うことが原則であり、国民健康保険制度などとの制度統合をすすめることを求める。

賛成



櫻井 雅美（さくらい まさみ）

決算を次の予算に活かす（認定第１号）

実績の差や事業効果を検証し、課題を次年度の予算や事業運営に反映することが重要です。必要な支援は確実に届ける一方、実態に合わない予算や効果の薄い事業は見直し、持続可能な行政運営につなげることを求めました。将来の負担軽減も見据えた検証が必要です。

賛成



あさひ
谷川 健一郎（たにがわ けんいちろう）

課題は多いが黒字推移を評価（認定第１号）

実質収支は約5.9億円の黒字で収支均衡を維持し、概ね着実な執行を評価し賛成する。一方、プレミアム率30％のデジタル商品券は24,473口・275事業所で利用されたが、利用率や恩恵の偏りを含めた費用対効果の検証を要望する。あわせて、一層の予算見積り精度の向上、ふるさと納税対策、補助金などの精査を求める。

採決結果で意見が分かれた議案（９月定例会）

○：賛成　●：反対　－：欠席　※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略しています）	あさひ 石原 壽朗	あさひ 谷川健一郎	あさひ 鈴木 絢賀	あさひ 石川 喜次	きずな 青木 信哉	きずな 鈴木 一也	公明党議員団 鳥居 美和	公明党議員団 甲斐百合子	政和クラブ 石川よしはる	政和クラブ 南 賢治	たけとよ 福本 貴久	たけとよ 久野 勇	無会派 櫻井 雅美	無会派 梶田 進	無会派 松本 万之	無会派 本村 強	採決結果
議案第62号	令和８年度武豊町一般会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	○	○	可
認定第1号	令和７年度武豊町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	●	○	○	可
認定第2号	令和7年度武豊町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	●	○	○	可
認定第3号	令和7年度武豊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	●	○	○	可
意見書第1号	「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	可

ほか９議案は全員賛成により可決されました。

議案の採決結果一覧はこちら▶▶▶

意見書を提出しました!

◎意見書とは……町の公益に関する事件について、国会または関係行政庁に対して提出するものです。

「新たな『定数改善計画』」の確実な実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

次号予告

10月３日(土) 住民対話集会を開催しました！

今回は、中学生と「武豊町の未来」について語り合いました。詳しい内容は198号で掲載予定です。

令和８年度 補正予算

今年度の予算が変更されました

02 土木 安全な道路の維持管理は

今回の工事は、八潮市の道路陥没事故を受けて本町が実施した「全国特別重点調査」の結果、国より１年以内の対策が要請されている緊急度Ⅰ判定の区間において、補修が必要な部分の工事となります。

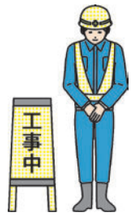
議員から質問！

Q 一般排水路維持補修工事の調査内容は。

A ひび割れ部分、水路内に地下水が流れ込んでいる部分のモルタル補修および水路の取付管が突き出している部分の切断であります。

Q 今後の調査は定期的に行うのか。

A 今後の国の動向に注視して対応していく。



補正額　930.9万円

01 水道 水道基本料金を減免します

物価高騰対策の一部として水道基本料金を減免します。

議員から質問！

Q 減免額が１世帯あたり550円となっているが、１世帯１か月分の減免とした根拠は。

A この限られた財源を各世帯に公平に減免するため、定額で減免する方式とした。

Q 住民への周知方法は。

A 広報・庁舎表示システム・検針票で案内する。

補正額　110.2万円

04 名誉町民 長年の貢献に感謝

名誉町民に選定された籾山芳輝前町長へ贈る名誉町民章を作成する。デザインはサザンカや楠がモチーフとなる。

議員から質問！

Q 名誉町民章作成委託料の内訳は。

A 本体製作費、原型製作費、首に下げるためのひも、リボン代、ケース製作費となる。



▲籾山芳輝前町長

補正額　38万円

03 こども 平等に給食費を軽減

民間の保育園も平等に給食費を軽減します。

議員から質問！

Q 保育所等給食費軽減対策支援金の対象は。

A 私立認可保育所：このみ保育園、たけのこ保育園
認定こども園：北中根こども園
小規模保育事業所：hagukumi
令和８年７月～９月までの３か月間、人数は238人分です。

Q この支援金は、保護者ではなく保育園に支払われるのか。

A お見込みのとおりです。



補正額　144.9万円

Q AEDはいつでも使えるか

A 設置場所と管理を検証する



議員のひとこと
AEDは置くだけでなく常に使える状態を整えるべきだ。
たけとよ 久野（くの） 勇（いさむ）

Q AED設置場所は妥当か。

A(総) 設置時には「AED適正配置ガイドライン」に基づき、公共施設や高齢者施設、体育施設などを総合的に判断して配置してきた。しかし、現状の配置が本当に最適なのかは今後の課題です。

Q 夜間・休日でも使える体制や、屋外設置は十分か。

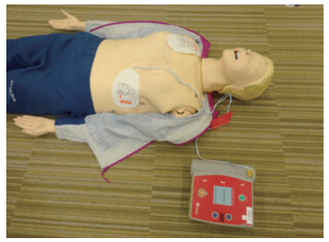
A(総) 屋外設置は破損や盗難のリスクのため屋内設置が多く、町内で24時間利用可能なAEDは45%。夜間の救命体制としては、即時性と安全性を両立した設置場所の見直しを検討していく。

Q 点検・維持管理は適切か。

A(総) 公共施設のAEDは台帳で管理し、期限前に交換している。一方、民間設置AEDについては耐用年数や点検状況を把握できていない。民間との協力体制の構築を調査研究する。

Q 空白地域はどの程度あるのか。救命支援策はどうか。

A(総) 距離や到達時間を踏まえ空白地域の把握は未定。AEDが近くにない場合の救命支援策として、映像通報システム「ライブ119」の周知を進めている。



▲AED取扱い訓練イメージ

ライブ119とはスマホのカメラ映像を119番の消防指令室へリアルタイムで送るシステム。

Q 役場新庁舎の建設計画は

A 来年、基本計画の公表予定



議員のひとこと
建築費が高騰、名古屋では、百貨店が再開発を見直し、本町でも、慎重な判断が必要では。
きずな 鈴木（すずき） 一也（かずなり）

Q 計画策定の経緯は。

A(町長) 現庁舎は、老朽化や耐震性から対策が必要。
令和4年に「庁舎整備計画」や令和5年には「名鉄知多武豊駅西グランドデザイン」が策定され、具体的な検討を進めている。

Q 現在の進捗状況は。

A(建) 公共交流拠点として、役場庁舎・保健センター・交流施設の3施設を計画し、事業手法や概算事業費など精査、本年7月には業務委託契約も締結した。

Q 財源の確保は。

A(総) 基金の取り崩し、地方債、一般財源の活用など考え、今後、建設費が固まり次第具体的な財源確保を考える。

Q 旧庁舎跡地の利活用は。

A(建) 駅西の「にぎわいエリア」に位置づけ、多様な交流が生まれるエリアを目標とし、民間への売却や貸付も選択肢の一つとし、公的利用、民間活用の両面から検討。

庁舎建設のような大型事業では、地方債も活用し、現役世代だけでなく、実際に便益を受ける将来世代にも負担していただくことが重要、今後も、慎重に検討してもらいたい。



▲役場新庁舎建設予定地

〃町政を問う〃 一般質問

※一般質問の記事は質問者本人が編集しています

一般質問とは、町議会議員が町政全般について現状や方針を問うものです。議長として、各議員が活発な議論ができるよう公平・公正な議事運営に努めます。

議長 石川よしはる



もっと身近に、もっと便利に！
議会の様子を知る方法が広がりました。

YouTubeでいつでも

New

好きな時間に好きな場所で一般質問を視聴できるようになりました。
ぜひ一度ご視聴ください。





議会で傍聴！

どなたでも傍聴可能です。
2階議場へお気軽にお越しください。
傍聴のご案内▶▶▶



テレビで視聴！

一般質問の様子がテレビで放送されます。
12/12(土)・14(月) 9時～
CCNCケーブルテレビにて放送予定！

《答弁部署の略号》
(総) 総務部 (政) 政策推進部 (福) 保健福祉部 (こ) こども未来部 (経) 生活経済部 (建) 建設部 (教) 教育委員会

Q 園での熱中症予防対策は

A 園児を見守りながら対応



議員のひとこと
新庁舎と交流施設の一体的整備の必要性と、保育園の熱中症対策の共通ルール化を求める。
あさひ 石川（いしかわ） 喜次（よしじ）

公共交流拠点整備

Q 庁舎に求める行政機能と交流施設に求める交流機能をどう位置づけ、なぜ同じ拠点に一体的に整備するのか。

A(町長) 新庁舎は「防災・危機管理拠点」「利便性の高い住民サービス」「効率的で柔軟な組織基盤」として、交流施設は「多世代交流の促進」を図る役割を目指す。
一体整備は、行政機能が持つ「安全性・信頼性」と交流機能が持つ「賑わい・創造性」を融合させ、利便性が高く、親しみやすい拠点となる。併せて、財政負担の軽減と防災力の強化を両立させることで、町の持続可能性を高めると考える。

保育園の熱中症対策

Q 事故防止と検証のため、暑さ指数や確認者、活動内容、変更中止の有無は、全園で統一様式により記録を残すべきではないか。

A(こ) 統一した記録用紙など運用の仕組みの必要性について、今後協議していく。

Q 日よけ施設などの拡充に加え、活動中の再確認や送迎時を含めた保護者への注意喚起など、より踏み込んだ見直しが必要と考えるが。

A(こ) 日よけやミストの設置などに努めているが、熱中症への注意喚起を含め、より適切な対策を協議していく。



▲熱中症予防対策（水分補給）

Q 来庁者アンケートの実施は

A LINEアンケート実施中



議員のひとこと
住民の利便性向上を目指し「待たない、書かない、行かない」住民目線の窓口業務改革を。
公明党議員団 鳥居（とりい） 美和（みわ）

DXの目的は、単に新しいシステム導入ではない。職員の業務負担を減らし、そこで生まれた時間と余力を町民に寄り添うための時間に変える。そして、町民にとって「困った時に相談できる、頼りになる役場」をつくっていくことが、行政に求められていると考える。

Q 庁舎入口付近に総合案内を設置し、職員が適切な窓口へ案内する体制を整える考えは。

A 政 高齢者や障がいのある方や初めて来庁される方にとって、どの窓口で手続きをすればよいかわからない場合もあることから、適切な窓口へ迅速にご案内することは、住民サービスの向上につながる重要な取り組みであると認識している。

来庁者の利用状況やニーズを検証していく。あわせて、窓口DXの取り組みを一層推進し、よりわかりやすく、待ち時間や庁舎内の移動負担を最小限に抑える窓口サービスのあり方を検討する。



Q 来庁者アンケートなど、町民の意見を継続的に窓口改善へ反映していく考えは。

A 経 「町長への提案」など町民の方からの意見や質問を受け付けている。来庁者からの意見を聴くなど住民の意見を反映しながら、窓口サービスの向上に努める。

Q 施設の有意義な活用は

A 有意義活用していると考える



議員のひとこと
自然公園の展望台でも持ってきたら。だめなら、中央公園独自の展望台を作っては。
政和クラブ 南（みなみ） 賢治（けんじ）

今現状で有意義であるとお考えのような答弁ですが、あれもこれもと住民の要求要望は、きりがありません。

Q 防災避難所の拠点となるべく、かまどベンチもある中央公園に、バーベキューがやれる整備はできないか。

A 建 今後、長期的な視点で時代のニーズや周辺への影響などを考慮した上で、地元や関係機関などと協議・調整しながら、公民連携による実現の可能性も含め、引き続き、調査研究してまいりたい。

Q 公民連携で考えるなら、バーベキューにとどまらず、民間かNPOなどに管理運営をお任せして草取りなどを含め、公園そのものの維持管理をお任せするようなシステムを作ったらどうですか。

A 建 公園・緑地整備の方針においても、別曽池や自然公園を含む南西部の丘陵地は「自然レクリエーションエリア」として、適切に維持管理し機能の充実を図ることが掲げられております。

現在のところ、具体的な整備内容、スケジュールなどの検討には至っておりませんが、カーボンニュートラル、ゼロカーボンシティ宣言の理念もしっかりと踏まえたうえ、調査研究してまいりたいと考えております。



▲中央公園かまどベンチ

Q 生ごみの異臭と減量問題は

A アスパの活用を多くの方へ



議員のひとこと
アスパを活用して生ごみから発生する異臭と更に堆肥させて生ごみの減量へと呼び掛ける。
松本（まつもと） 万之（かずゆき）

Q 月二回のアスパ製造作業場所が中央公民館の駐輪場と天日干し作業場所が一部の町道（占有道路）で行っているがより良い作業場所の提供の考えは。

A 経 アスパの製造作業により、適した場所を協議した上で、可能な限り対応していく。

Q 近隣他市町（知多半島内）でのアスパ製造状況は、どのようになっているか。

A 経 半田市は職員。東海市・知多市・南知多町は社会福祉法人。大府市は地域婦人団体連絡協議会。阿久比町は就労支援事業所とあいち知多農協で。美浜町はまちづくり推進委員会、社会福祉法人、NPO法人。東浦町と常滑市は実施していない。

Q アスパ製造作業の今後について、作業従事者が高齢化に伴い減少していて、今後の活動自体に不安を抱えているが、本町としてはアスパ造りの存続に対してどのような考えをもたれているか。

A 町長 団体の存続が困難なアスパ作製作業ができないようですと、他の製造団体の検討も視野に入れます。

A 経 ホームページやLINEなどで募って、できる限り協力させていただく。



▲無料配布しているアスパ

Q カスハラに対しての対応は

A 相手への対応方法を検討する



議員のひとこと
役場職員が健康的で安心して能力を発揮できる職場環境を整備することが不可欠である。
たけとよ 福本（ふくもと） 貴久（たかひさ）

Q これまでに職員からカスタマーハラスメントの相談を受けたことはあるか。

A 町長 威圧的な言動や長時間の電話対応など、カスハラが疑われる事案について、職員から報告・相談があった。

また、今年度5月に実施した職員アンケートの結果では、カスハラを受けたことがある。または目撃したことがあると、多くの職員から回答があった。

Q 相談があった案件に対して、どのように対応していくのか。

A 町長 カスハラを受けた職員から丁寧に聞き取りを行い、事実関係を確認した上で、必要に応じて所属長や担当部署と情報を共有し、組織として対応していくことを基本としている。その上で、相手方への対応方法を検討し、複数職員での対応や対応の中止、警察・弁護士などの専門機関へ相談をする。

また、職員の心理的負担にも配慮し、相談後のフォローを行うとともに、事例を検証し、再発防止や職場環境の改善につなげていく。

カスハラについては、毅然とした対応をしていただきたい。

議会側としても、ハラスメントに関しては、対策をしなくてはならない問題・課題と、私は認識している。



Q 学校のLED化工事の予定は

A 令和9年の夏休み中に実施



議員のひとこと
学校訪問で感じた特別教室の照明の暗さ。子どもたちの学習環境の改善は急務である。
本村（もとむら） 強（つよし）

Q 小・中学校の教室などの照度についての基準は。

A 教 文科省の学校環境衛生基準によると、机上で300ルクス以上とされている。

Q 武豊小学校の音楽室は大変暗いと感じる。天気にも左右されるが、曇りや雨の日も基準は満たしているか。

A 教 天候が悪い日も300ルクスを超えている。

Q 今後始める町内30施設のLED化工事のスケジュールは。

A 町長 30施設を3グループに分けて工事を行う①令和8年11月から令和9年3月末に20施設②小中学校の5施設を令和9年7月から10月中旬（夏休み中の工事）③総合体育館などの5施設を令和9年10月から令和10年3月末。

Q ①グループには、冬休み2週間を含んでいる。武豊小学校の工事を組み込めないか。

A 教 年末年始で、実質的な稼働日が確保できないので施行は困難である。

Q 電子黒板やタブレットの授業が増えている。基準値より明るくする必要があるのではないか。

A 教 普通教室でも500ルクス以上の設計を行う。


▲令和9年夏休みにLED化の学校施設

Q 町主体の学びの場づくりは

A 町独自フリースクールを検討



議員のひとこと
子どもの成長は早い。今しかできない学びや経験を大切に、先送りしない公平な政策を。
櫻井（さくらい） 雅美（まさみ）

Q 被災時の届出避難所制度の導入と民間事業所のBCP連動

Q 届け出避難所は、日頃利用している子どもや障がい者、その家族を受け入れることで、環境変化による負担を軽減し、事業再開につながられるが導入についての考えは。

A 総 受け入れ先が増えることは非常に良いことだと考えており、事業所への調査は必要と認識している。

子どもの学びの確保と個別最適化の推進

Q 学校外で学ぶ子どもたちの実態調査を行うとともに、フリースクールなどの利用補助に踏み出すべきと考えますがお考えは。

A 教 公的支援体制の充実を優先しているところ。町独自の利用料補助については、現時点では考えていない。

Q 町内の民間支援団体や、町外のフリースクールなどと協働の公民連携のプラットフォームを教育委員会に任せず、町長主導で立ち上げるべきと考えますがいかがですか。

A 町長 本町の強みを生かしたフリースクールが作れないかと考えている。地域クラブの自立、コミュニティスクールのさらなる進化によって、新たな学びや居場所につなげていきたい。



Q 高齢ひとり暮らしの見守りは

A シルバーカードの登録がある



議員のひとこと
「自宅で倒れたときに誰にも気づかれないのでは」との声。高齢者の命と尊厳を守りたい。
公明党議員団 甲斐（かい） 百合子（ゆりこ）

Q 本町の高齢者見守りとは。

A 町長 自助・互助・共助・公助の「多層型高齢者見守りネットワーク」の構築が重要。互助では、民生委員・児童委員による定期的な声かけや安否確認。共助では協定を結んだ民間事業者が異変を察知したときに福祉課への連絡など。公助としては「シルバーカード」登録があり、貸与が必要と認められる方にボタンを押すだけで指定の連絡先へ通報できる「緊急通報装置」の取り付けなどの支援がある。

Q 異変を察知したときの対応は。

A 福 緊急性の高い事態には、消防署や警察署への通報が最優先。日常の異変や違和感にお気づきの際の相談窓口は、役場福祉課または、地域包括支援センターへ。夜間や休日も、役場（宿直）・地域包括支援センターへ。

A 福 「シルバーカード」登録の条件としては、希望する満65歳以上で本町に住民登録がある方。ひとり暮らしの方。500m以内に頼れる親族がいない方。

Q ICTを活用した見守りの補助制度についてのお考えは。

A 福 ニーズやサービスが日々進化している。情報提供の面からサポートする。


▲民生委員の高齢者宅の訪問

Q 立入禁止の熊野池公園整備は

A 複数年にわたる整備を検討



議員のひとこと
各課策定の計画は、第6次総合計画最終年度の令和12年度完了を目指すべき。
あさひ 石原（いしはら） 壽朗（じゅろう）

Q 「次期公共交通計画」について、コミュニティバスは高齢者利用率が70％超。通勤通学時間帯の運行延長を早期に実現し、幅広い世代の利用に繋げるべき。

A 建 利便性向上施策と認識しており、公民連携も含めた財政状況の中で検討する。

Q 「やすらぎの森墓園整備計画」に掲げられている合葬式墓園の着手時期は。

A 建 当初は総合計画期間内での整備を検討した。財政状況と町民ニーズの変化も勘案して進めていきたい。

Q 東大高保育園・あおぞら園に隣接する熊野池公園は、長期にわたり立入禁止となっている。令和5年度の実施設計の結果は。

A 建 現地調査の結果、ウッドデッキ基礎部分の老朽化が激しく、多額の費用を要することが判明した。

Q 整備に多額の事業費を要することは理解する。事業を複数年度に分割するなど、財政負担を平準化して進めてはどうか。

A 建 国や県の補助制度を調査していく。また、財政負担軽減のため、全体を一度に整備するのではなく、部分的に工事施工し、複数年にわたり進めることは現実的な手法と考える。財政状況に併せ地元意見も参考に検討していく。


▲立入禁止の熊野池公園

Q 町内会支援システムの導入は

A 区の実情も考え調査研究する



議員のひとこと
日常生活も災害時も区の役割は重要。新しい技術を取り入れ、担い手不足の解消を。
あさひ 谷川（たにがわ） 健一郎（けんいちろう）

Q 区に加入しない理由の把握状況は。

A 総 全国のアンケート結果から、単身世帯や共働き世帯が増えたことにより、地域活動に対して時間が取れない、負担に感じるという人が増えたのも理由のひとつと推測する。

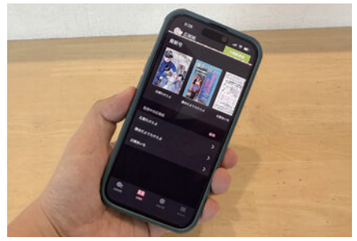
Q 区に入るメリット・デメリットを整理して情報発信する考えは。

A 総 区によって違いがあり、区の方から直接お話いただいていると認識している。

Q 自治会・町内会運営支援システムなどを町主導で一部の区から試行導入する考えは。

A 総 さらなる負担軽減や効率化を図るためには、時代のニーズに合った新しい手法を取り入れていくことも必要であり、業務のDX化はその手法の一つであると考えております。実際に導入するには、実際に使う区の方に必ず意見を伺わなければいけない。区にとって、どのような機能が適しているかも含め、導入済みの自治体、区長会にも状況を調査していく。

区は、住民生活において多くの役割を担っている。時代に合わせた技術を取り入れつつ、区と町が一緒になって、今後のあるべき姿を考えてほしい。



▲広報配信アプリ

Q 減税の財源が不明確では

A 行財政改革、寄付金で捻出



議員のひとこと
町民税減税は全国で名古屋市のみが実施している。町民税の減税は財政破綻の元になる。
かじた すすむ 梶田 進

Q 町長は選挙公約で町民税5％減税すると約束した。公約である町民税減税はいつ頃実施する予定か。

A 町長 町民税減税については、実現に向けて現在、関係課および関係ベンダーと調整を進めている。
実施時期は、財務状況、行財政改革の取り組みによる効果を踏まえながら、多角的に検討を進め、令和9年度中の実施を目指す。

Q 町民税5％減税で、減収はどの程度となるか。

A 町長 基本的に32億円程度の町民税収となると約1・5億円程度を見込んでいる。

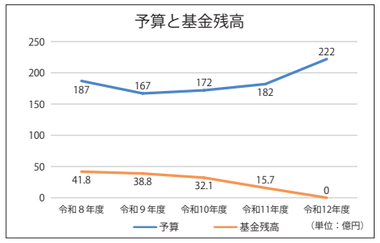
Q 令和7年度決算で、町民税収26億円、5％減税で約1・3億円の減収となる。この減収分をどうやって穴埋めするのか。

A 町長 企業版ふるさと納税の促進、補助金の活用、行政経営改革による事業見直しで財源の確保に努める。

Q 町民税減税で、全町民に対して、公平に減税となるのか。

A 総 減税であるので、恩恵は納税者のみとなる。

納税者と非課税者が約半々である。町民の約半数の方が恩恵を受けられない町民税減税は行うべきではない。



▲町長の予算編成方針より

Q 非常時にも町は機能するか

A 平時からの対策で行政を継続



議員のひとこと
改正地方自治法を踏まえ、自らの判断で町民を守る強靭な本町の体制を問う。
あさひ 鈴木（すずき） 絢賀（あやか）

Q 非常時に国からの指示のみでなく、町独自の迅速な判断や対応を行う体制は。

A 町長 国の指示を待つだけでなく、監視カメラなどのリアル情報で災害対策本部が迅速に判断する。

Q 他地域からの支援や物資を的確に届ける体制は。

A 総 本部長不在時も代理順に沿った体制を整え、各種訓練を行っている。

A 総 国や県などと素早く情報共有できる体制を本年度中に整備する。応援職員の配置手順や物資が混乱なく届く管理ルールの仕組み作りが課題である。

Q サイバー攻撃対策やデータのバックアップ体制は。

A 政 他自治体の影響を受けない、政府調達の安全なクラウドにて情報管理。万一攻撃を受けても別のサーバーへ切り替えが可能。遠隔地にも情報保管し、行政運営を守る。

Q サイバー攻撃を受けた際の初期対応や訓練体制と、職員意識向上への対策は。

A 政 庁内に情報対策専門チームを設置し、速やかに対応する体制を整えている。担当職員は毎年、実践的サイバー防御演習に参加。専門職でない職員でも一連の手順を体験し対応力の向上を図る。



Q 猛暑時期の避難所対応は

A LPガスでの空調設備で対応



議員のひとこと
災害時、避難所に於いて町のできることは限られる。住民個々での備えを今一度見直そう。
きずな 青木（あおき） 信哉（しんや）

Q 本町の南海トラフ地震における被害想定は。

A 町長 過去地震最大モデルに基づく想定で最大震度6強、建物被害の合計は約700棟、人的被害死者数約30人。理論上最大想定モデルに基づく想定で最大震度7、建物被害の合計は約7200棟、人的被害死者数約300人。

Q 猛暑時期の避難所対応は。

A 総 小中学校避難所は停電時でも稼働するLPガス使用の空調設備を採用しており、ガスが十分であれば24時間の冷房を6日間維持できる体制を整えている。

Q 災害時備蓄品の内容は。

A 総 避難者数を4500人と想定。非常食4万5000食を備蓄。保存水4万500Lを目標に備蓄する見込み。トイレ対策として災害用備蓄トイレ90基を備え、その他携帯用便袋12万6000回分を令和7年度末で備蓄済。その他避難所生活に必要な間仕切り用パーティション、毛布、備蓄用歯ブラシなども備蓄。

Q 各避難所の訓練状況は。

A 町長 一斉防災訓練を持ち回りで開催。令和5年度富貴中学校、令和6年度武豊小学校、令和7年度緑丘小学校で開催済。令和8年度は富貴小学校で開催予定。



行政視察・研修会リポート

▲報告書はこちら

総務政策委員会

未来に活かせ！DX



6/29 静岡県焼津市

焼津市の新庁舎は、近年完成・共有が始まった庁舎で「防災配慮の設計」や「市民サービス機能強化」が具体的に学べた。

庁舎は免震構造を取り入れ１階は防災面や災害時の広域情報共有を想定した空間設計になっていた。２階以上は市民窓口・行政機能。市民との接点を明確に分けたフロア配置により利便性を高めていた。


裾野市の総合案内所



直感的ボタンでアンケート

6/30 静岡県裾野市

裾野市は「日本一市民目線の市役所」を目指して「待たない、書かない、行かない」行政窓口改革を進めていた。手続きのＤＸ化により、庁舎の混雑緩和や窓口での手続き時間の短縮などの効果が上がっている。窓口予約・発券システムは市ＨＰで予約ができる。お悔やみコーナーは23年から開設。書かない窓口は25年１月に導入。職員が書類発行に必要な事項を来庁者から聞き取り、申請書を作成。来庁者は本人確認と署名のみで手続きを完了できる。改革推進に当たっては、職員が利用者として実際に手続きしながら改善点を探る「窓口利用体験調査」を継続的に実施。その都度「市民目線の意見」を集約・反映させていた。改革は、職員の負担軽減になり住民サービスに繋がることを実感した。

文教厚生委員会

教育と健康の先進事例



7/21 奈良県天理市

天理市では、保護者の複雑な相談・クレームを一元で対応する「ほっとステーション」により、教員の精神的負担が軽減され、残業時間減少や離職・休職の抑制が図られていた。さらに「学校三部制」は、学校施設を「地域の共有財産」として時間帯別に機能転換させ、地域住民や外部人材と連携して運営する仕組みで、公共施設の有効活用と地域コミュニティの活性化を同時に実現する優れたモデルであると実感した。

7/22 奈良県大和郡山市

大和郡山市は、分教室「ASU」を校内教育支援センターなどでも難しい生徒の受け入れ先とし、昨年度卒業生は全員進学、過去の卒業生もほぼ進学できている成果は、不登校からの復帰という点で素晴らしい取り組みである。


議場

7/22 奈良県三宅町

三宅町の「ホーム心臓ドック」事業は、若年層の健康づくりを重点課題とし、民間企業との包括連携協定で在宅型の心疾患リスクを早期発見する公民連携事業を展開していた。


ホーム心臓ドックの説明

建設経済委員会

町民が求む公共交流拠点とは


オガール

7/23 岩手県紫波町

紫波町「オガール」では、民間の自由な発想を生かし、行政が必要なルールを整えるという公民連携のまちづくりの進め方を学びました。図書館やマルシェを中心に人が集まる仕組みがつくられておりイベント可能な空間が地域のにぎわいにもなると思います。テナント誘致の工夫や、施設が自ら収益を生み出す運営の考え方など、持続的に続けるための取り組みも印象的でした。

7/24 岩手県矢巾町

矢巾町「やはぱーく」では、図書館・子育て支援・交流スペースがひとつにつながるように配置され、平日でも多くの親子連れが訪れていました。館長の案内で、利用者が自然に交流できるよう考えられた空間づくりや、地域の生活を支える場としての役割を理解することができました。子育て支援の充実や図書館の電子図書の充実、プロムナードなど、住民に寄り添う運営が特徴的でした。


やはぱーく 図書館

広報委員会

町村議会広報研修会



8/25 愛知県名古屋市

アイリス愛知で行われました愛知県町村議会広報研修会へ委員全員で参加しました。そこでは、全国の先進事例を用いて、手に取り読まれる広報のノウハウを学びました。また、本町の議会だよりをクリニックへ提出し、講師より改善点をご指導いただきました。今後は住民参加企画やその他の企画を充実させます。私たち広報委員は、大人だけではなく、中学生にも読んでいただける議会広報を目指しています。これからも様々な情報発信を通じて開かれた議会を目指して参ります。

5/13 栃木県鹿沼市議会受入



「議会だよりの編集や広報広聴の取組み」について広報委員会で対応いたしました。

7/28 愛知県大府市議会受入



「議会広報紙の充実化に向けた取組」について広報委員会で対応いたしました。

議会たけとよ No.197
2026年11月1日発行
愛知県武豊町議会
令和8年9月定例会

UD FONT
見やすくてよみまちがいにくいユニバーサルフォントを採用しています。

発行／愛知県武豊町議会　編集／広報委員会
住所／〒470-2392 愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地
電話／(0569)72-1111　FAX／(0569)72-1671
ホームページ／http://www.town.taketoyo.lg.jp/
印刷／誠進社

武豊町議会
ホームページ



武豊町の学校給食が大好きです

～町民インタビュー～
武豊とわたし
VOL.26

次回198号（12月議会）は2月1日発行予定です。

９月から新しくなった学校給食センターは、小中学校の児童生徒さんに愛称を募集し、決定しました。その名は〝ゆめみらい〟。名付け親である中学2年生の杉浦早紀さんにインタビューしました。

どうして応募しようと思いましたか

理由は二つあります。一つ目は、愛称を決めるのが面白そうだなと思ったからです。二つ目は、武豊町の学校給食が大好きだからです。

新しい給食センターの印象はどうでしたか

すごく大きなところだなぁと思いました。
ここでおいしい給食が作られているんだと思うと、ありがたいことだと思いました。

好きな給食メニューは何ですか

わかめご飯とサバの銀紙焼きです。

どんな気持ちで「ゆめみらい」とつけましたか

未来まで、このおいしい給食が残っていってほしいという気持ちでつけました。

「ゆめみらい」とつけてくれた早紀さんの、未来の夢は何ですか

小学校の先生になりたいです。



▲杉浦早紀（すぎうらさき）さん

どうして小学校の先生になりたいと思いましたか

大好きな給食が食べられるから（笑）。

武豊町の未来、どんな町になってほしいですか

平和で、誰もが平等に生きられる町になってほしいです。



▲お母様と

議会への ご意見・ご感想はこちらへ

みなさんのご意見を気軽にお聞かせください。郵送、電話、メール、ホームページから受付しております。

〒470-2392 武豊町字長尾山２番地
☎ 0569−72−1111（議会事務局へ）
✉ gikai@town.taketoyo.lg.jp
電子アンケートこちらから ▶▶▶

令和８年 第４回定例会（予定）

場所：役場２階議場

日　付	内　容
１２月１日(火)	議案の上程・説明
１２月３日(木)	一般質問
１２月４日(金)	
１２月11日(金)	議案に対する質疑
１２月15日(火)	文教厚生委員会 総務政策委員会
１２月16日(水)	建設経済委員会
１２月22日(火)	討論・採決

※総務政策委員会、討論・採決は14:00～、その他は9:15～開始
※予定は変更する場合があります。武豊町議会ホームページもご確認ください。